

ゆぎょうじ 遊行寺だより

ホームページでも
配信しています

寺務所前の蓮が大輪の花を開こうとしています。

7月となり、お盆を迎える地域もあり、夏の到来を感じさせる今日この頃です。

また、先月はお陰様をもちまして、「大施餓鬼法要」、「犬猫慰霊法要」を無事厳修いたしました。時節柄体調を崩しやすい季節ですので、くれぐれもご自愛ください。

◆ 今月の行事予定

- げつれいほうわかい
・月例法話会【23日（土）午後2時】
信徒会館にて行います。ぜひ、ご参加ください。
今月のお話は
いちれんたくしやう
「一蓮托生」です。
講師：時宗布教伝道研究所
京都府京都市 金光寺 新堀俊尚師

【特集】

— お盆を迎える —

お盆は、正しくは「盂蘭盆会」といい、 Sanskrit 語のウラバンナ（逆さ吊り）に由来します。

お釈迦様の弟子である目連尊者は、亡くなった母親が餓鬼の世界で苦しんでいることを知り、お釈迦様に助けを求めます。多くの僧侶に供養を施すようにとの教示を受け、大布施行を捧げると、母親は餓鬼の苦しみから逃れることができました。この故事から両親、そしてご先祖様に供養しようと、7（8）月15日を中心にご先祖様を我が家に迎えてご供養し、再び仏様の浄土に送り返す風習が定着しました。これが「盂蘭盆会」です。

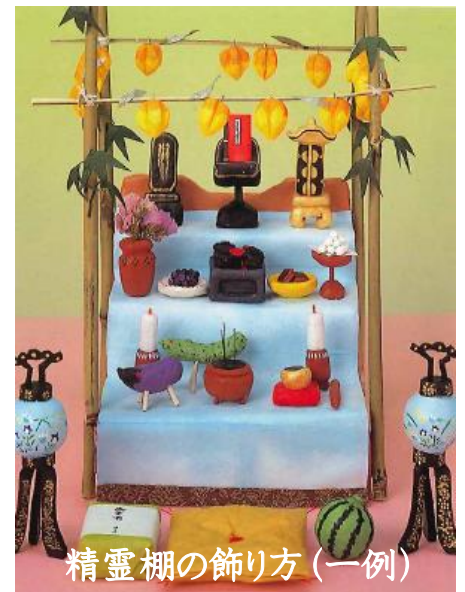
現在、ご供養に際しては僧侶が各家庭に赴き読経するのが一般的で、これを「棚経」といいます。

お盆の準備としては仏壇の清掃と精霊棚の設置が挙げられます。右のイラストは一例ですが、お位牌、過去帳、お花、香炉（線香置き）、蠟燭、お供物などを準備されるとよいでしょう。これらの準備に関しては、最近ではスーパーマーケット等でも簡単に手に入るようになりました。

いずれにせよ、供養する「心」が大切なことは言うまでもありません。

◆ 今月の催事予定

- ・第11回藤沢宿・遊行の盆【31日（日）】
神奈川県で最大級のお盆祭りで、29日（前夜祭）から3日間開催されます。最終日の31日は遊行寺境内で西富ばやし・踊り念仏の他に大盆踊り大会などが催されます。
- ・骨董市【3, 17日】
毎月第1日曜日…^{のみ}蚤の市
毎月第3日曜日…ポロ市
* 午前7時より午後4時まで（雨天中止）
- ・野菜市【6, 13, 20, 27日】
毎週水曜日 午前中・雨天中止



精霊棚の飾り方（一例）

* 遊行寺宝物館

ふじさわ宿交流館開館記念特別展

『藤沢宿と遊行寺』〔～7月18日（月祝）〕

・開館日：毎週月・土・日曜日・祝日

・入館料：500円（小・中学生300円）

仏様のものさし

先月、犬猫慰霊法要と大施餓鬼法要という二つの大きな法要を厳修いたしました。梅雨の時期だけに雨が心配でしたが、天気にも恵まれ多くの方にご参拝をいただきました。

さて、私たちは雨が降ると「天気が悪い」、「うつとうしい天気」などと表現することがあります。自然をはぐくみ、大地に恵みをもたらす雨も、自分に都合が悪ければ時として“悪”のレッテルを張ってしまうのです。

天気に限らず、世の中では学校の成績、運動能力、仕事能力などで様々に「人の価値」がつけられます。それは私たちが日頃から「人間のものさし」で物事を判断しているからです。

「人間のものさし」は対象が有益かどうか、自分にとって損か得かで判断します。例えば、“成績のいい子、仕事ができる人が偉い”、“あの人は怒りっぽくて嫌い”、“この人には逆らわない方がいい”、などです。しかも、このものさしの目盛りは自分勝手に変化してしまうので、自分には甘くなったり、他人には厳しくなったりとたいへん厄介です。

それに対して「仏様のものさし」はその存在そのものの価値を測ります。決して、他の存在とは比べません。また、自分にとって有益かどうかで目盛りが変わることもないので、「あるがままの命」を慈しむことができるのです。

現実社会は、損得や学力、経済力など「人間のものさし」であふれています。そして人は“比べること”で差別を生み、自ら苦しみを生み出していることになかなか気づくことができません。

「隣の芝は青い」ことに気を取られず、目の前にある我が子や家族、毎日の食事などあるがままを「仏様のものさし」で眺めましょう。

合掌

facebook



フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪



時宗総本山
遊行寺

〒251-0001

神奈川県藤沢市西富1-8-1

TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243

ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

ふればぬれ

ぬるればかほく袖そでのうへを

雨としていとふ人ぞはかなき

一遍上人

～一遍上人のおこころ～

雨が降れば濡れ、そして濡れたものはやがて乾くのが道理であるのに、雨が降ってきたからといって慌てて避けようとするのは愚かなことである。

